

大滝根川流域ガイドブック

—水辺の歴史編—



はじめに

みなさん、休みの日に遊びに出かけるというと、たいていの方は車に乗って遠くの山や海、テーマパークなどへ行くとお思います。でも、もっと身近に楽しめることはたくさんあります。みなさんが住んでいる大滝根川流域には、すばらしい自然と風土がたくさんあります。自分たちの住んでいるところをよく知って、良いところは大切に守ってほしいとお思います。

この本は、みなさんの身のまわりの水辺の歴史や水辺と人との関わりについて知りたいときに、使ってください。

平成 21 年 5 月

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

会長 三春町長 鈴木 義孝

目次

さんせだい 三世代アンケートとは？	1
アンケートに ^{こた} 答えて ^{くだ} 下さ ^{かた} った方	2
アンケート ^{けっか} 結果からわかったこと	5
みずべかんきょう へんか 水辺環境の変化	5
みずべ あそ 水辺での遊び	11
みずべ い もの 水辺の生き物の変化	17
つかんだ ^{あと} 後のとりあつかい	24
かわ よご 川の汚れについて	25
こちす 古地図でわかる川の ^{かわ} 変化 ^{へんか}	27
ごがん しら 護岸を調べる	28
かどう しら 河道を調べる	30
まとめ	31

— 付録 —

さんせだい
三世代アンケート（白紙）

さんせだい 三世代アンケートとは？

はじめに、「さんせだいアンケート」とは何かといいますと、びわこはくぶつかん
の方が琵琶湖周辺の水辺と人の関わりについて知るために考えた調査
ほうほう
方法です。

このアンケートは、まずしょうがくせい かわ
小学生が川についてのいくつかの質問に答え
ます。そして、こんど いえ かえ おな しつもん
今度は家に帰って同じ質問を、お父さんやお母さん、お
じいちゃんやおばあちゃんに聞くというものです。この方法のよいと
ころは、かぞく かわ について はな きかい ができ、こども じぶん
家族で川について話す機会ができ、子供たちも自分のお父さんや
おじいちゃんから直接聞くことによって、自分のこととして情報を
きょうゆう
共有できることです。そうすることによって、しぜんかんきょう へんか たにんごと
自然環境の変化が他人事
ではなく、自分たちの身近な問題として関心が高まります。

さくら 湖自然環境フォーラム 実行委員会では、おおたきねがわりゅういき みずべ
環境の変化を調べるために、さんせだい アンケートを おおたきねがわしゅうへん
環境の変化を調べるために、三世代アンケートを大滝根川周辺の様子
がわかるようにアレンジして、2004 年から実施してきました。

アンケートに^{こた}答^{くだ}えて下^{かた}さった方

[2004年]

実施^{じっし}小学校

関本^{せきもと}小学校、春山^{はるやま}小学校、中郷^{なかさと}小学校

有効^{ゆうこう}回答^{かいとう}数^{すう}

児童^{じどう}世代^{せだい}55名、父母^{ふぼ}世代^{せだい}60名、祖父母^{そふぼ}世代^{せだい}45名

[2005年]

実施^{じっし}小学校

牧野^{まぎの}小学校、三春^{みはる}小学校、中妻^{なかつま}小学校

有効^{ゆうこう}回答^{かいとう}数^{すう}

児童^{じどう}世代^{せだい}95名、父母^{ふぼ}世代^{せだい}59名、祖父母^{そふぼ}世代^{せだい}55名

[2006年]

実施^{じっし}小学校

牧野^{まぎの}小学校

有効^{ゆうこう}回答^{かいとう}数^{すう}

児童^{じどう}世代^{せだい}16名、父母^{ふぼ}世代^{せだい}16名、祖父母^{そふぼ}世代^{せだい}12名

[2007年]

実施^{じっし}小学校

御木沢^{おぎさわ}小学校

有効^{ゆうこう}回答^{かいとう}数^{すう}

児童^{じどう}世代^{せだい}50名、父母^{ふぼ}世代^{せだい}47名、祖父母^{そふぼ}世代^{せだい}28名

[2008年]

実施^{じっし}小学校

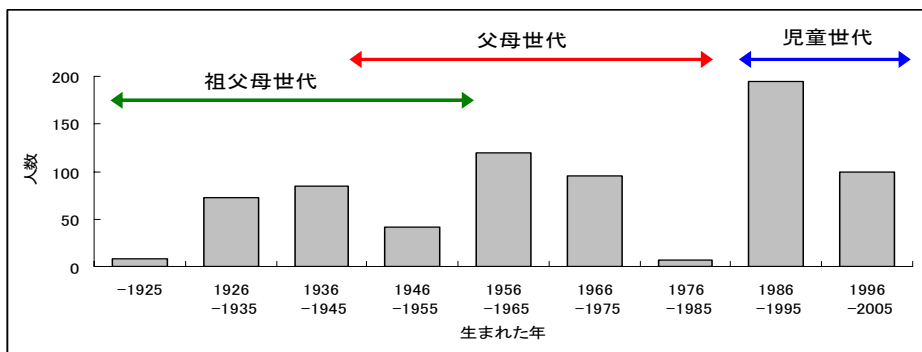
瀬川^{せがわ}小学校

有効^{ゆうこう}回答^{かいとう}数^{すう}

児童^{じどう}世代^{せだい}78名、父母^{ふぼ}世代^{せだい}64名、祖父母^{そふぼ}世代^{せだい}52名

三代目アンケートでは、水辺の変化や川の生き物の変化を、時代背景とともに評価できるように、生まれた年をお聞きしています。アンケートに答えて下さった方を10年ごとに分けると、下の表のようになりました。

小学生とその父母、祖父母ということで、20代の方、つまり1976年から1985年の間に生まれた方は少数でしたが、その他の年代は多数の回答が得られ、1925年（昭和元年）頃からの水辺の様子を知ることができました。

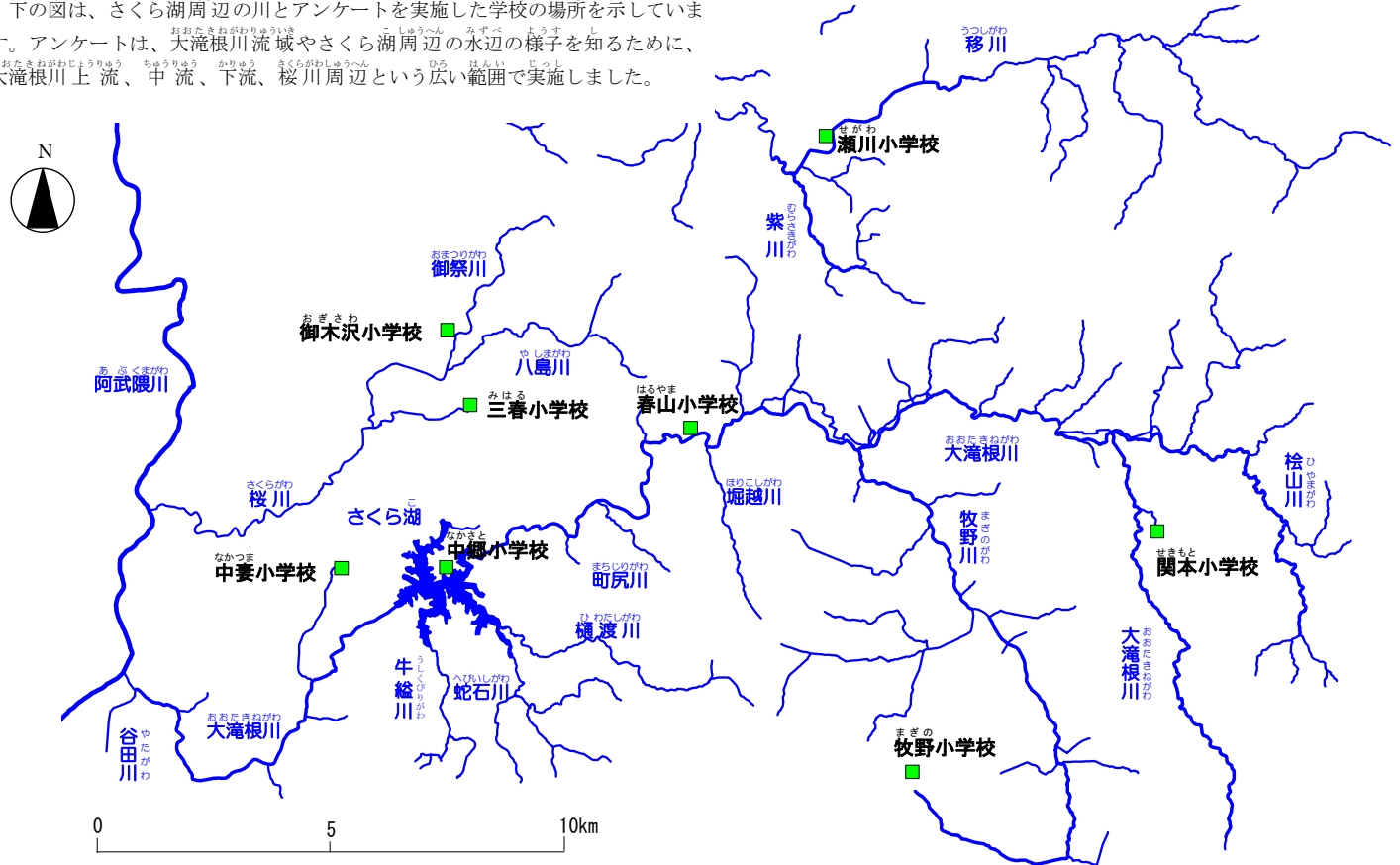


生年別の回答数

生年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	合計
～1925年	2	3		1	2	8
1926～1935年	21	28	3	6	14	72
1936～1945年	20	20	7	17	20	84
1946～1955年	9	10		3	19	41
1956～1965年	32	36	12	20	20	120
1966～1975年	21	16	4	24	30	95
1976～1985年					7	7
1986～1995年	53	92	13	36		194
1996～2005年	2	3	2	14	78	99
不明		1	3	4	4	12

アンケート実施校

下の図は、さくら湖周辺の川とアンケートを実施した学校の場所を示しています。アンケートは、大滝根川流域やさくら湖周辺の水辺の様子を知るために、大滝根川上流、中流、下流、桜川周辺という広い範囲で実施しました。



アンケート結果からわかったこと

ここでは、アンケート結果からわかったことを、項目別に集計結果もあわせてご紹介します。

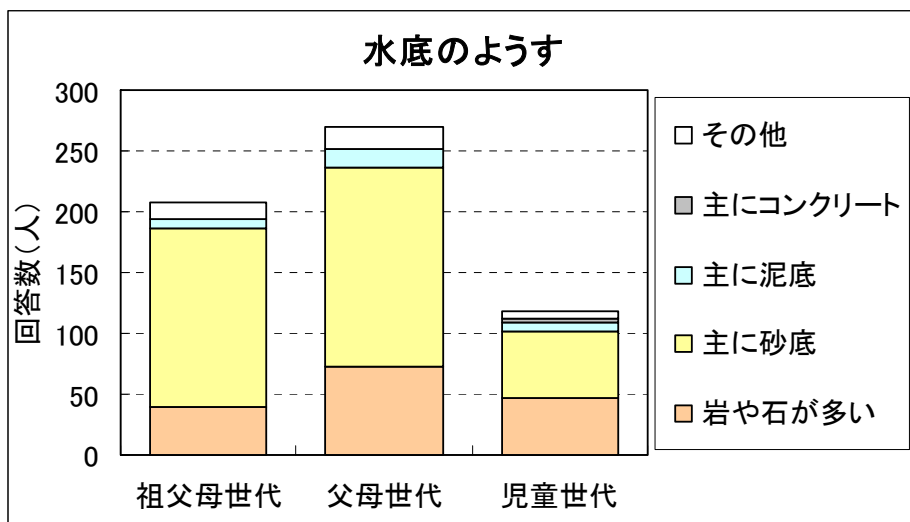
水辺環境の変化

質問

よく行った水辺について、水底、水ぎわ、土手の様子を教えてください。

結果

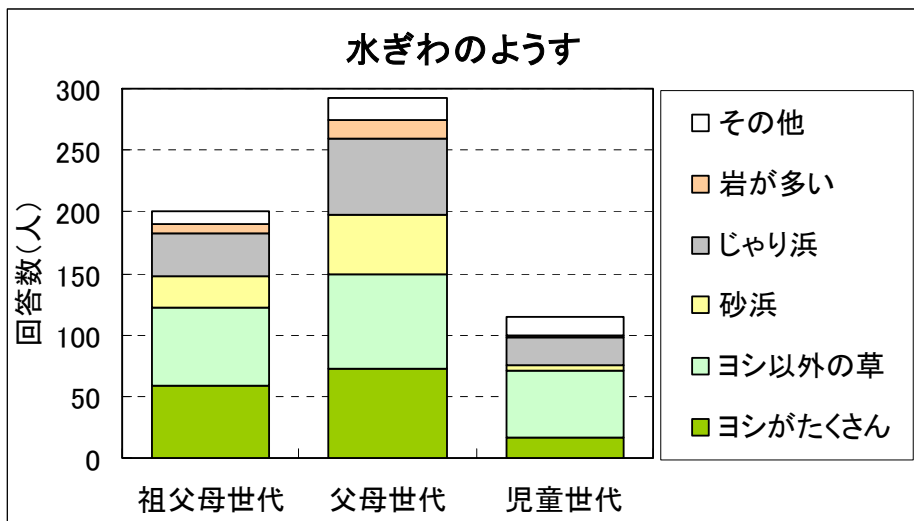
1. 水底の様子



児童世代は、川や田んぼに出かけることが少ないため、すべての項目において、回答数が少なくなっています。

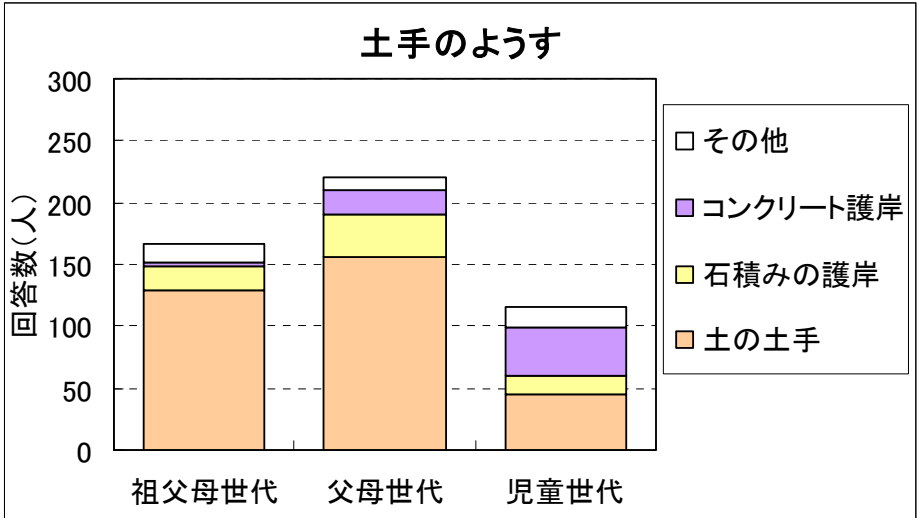
いずれの世代においても、主に砂底と答えた方が一番多く、つぎに岩や石と答えた方が多くなっていました。児童世代で、コンクリートと答えた方が少しいましたが、大滝根川周辺の河川では、水底の様子は大きく変化していないことがわかりました。

2. 水ぎわの様子



いずれの世代においても、ヨシ以外の草と答えた方が一番多く、それ以外はヨシや砂利と答えた方が多かったです。大滝根川周辺の河川では、水ぎわの様子も大きく変化していないことがわかりました。

3. 土手の様子



コンクリート護岸と答えた方が、祖父母世代ではわずかでしたが、父母世代で増加し、児童世代では回答の3割をこえていました。これは、河川整備が進み、自然の護岸が少なくなってきたことが考えられます。



←三階滝

（みはるまち 三春町 / おおたきねがわ 大滝根川）

現在は げんざい 三春ダム けんせつ 建設
時の じ 工事 こうじ で な 無くなって
しまいました。

MS

さくらがわ
桜川→

（げんみはるまちにんぎょうかんふきん
現三春町人形館付近）



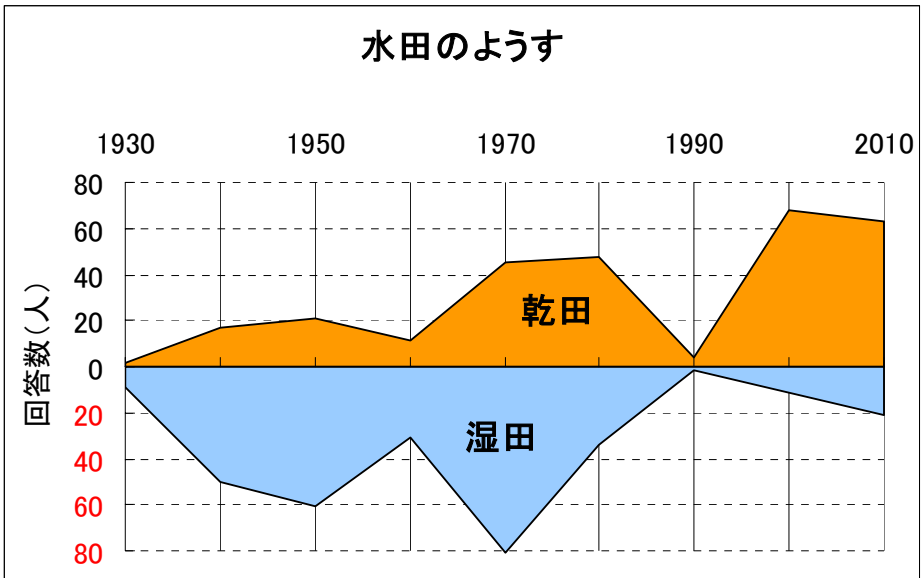
OT

質問

よく行く水田は、冬に水を落とさない湿田ですか？それとも冬に水を落とす乾田ですか？

結果

水田の変化を時代的にとらえるために、年代別に整理しました。アンケートでは、生まれた年をお聞きしており、小学生の頃の様子をお聞きしていますので、生まれた年が1936年から1945年の方が10歳の頃を平均して1950年、1946年から1955年の方を1960年というように、10年ごとに区切って整理しました。



1965年頃までは、冬に水を落とさない湿田の方が多かったことがわかりました。最近では、圃場整備が進み、機械での作業が多くなったため、田んぼは稲刈り前には水を落とす方が多いようです。



←稲刈りの様子
昔は全て鎌で刈り取って
いました。

MS

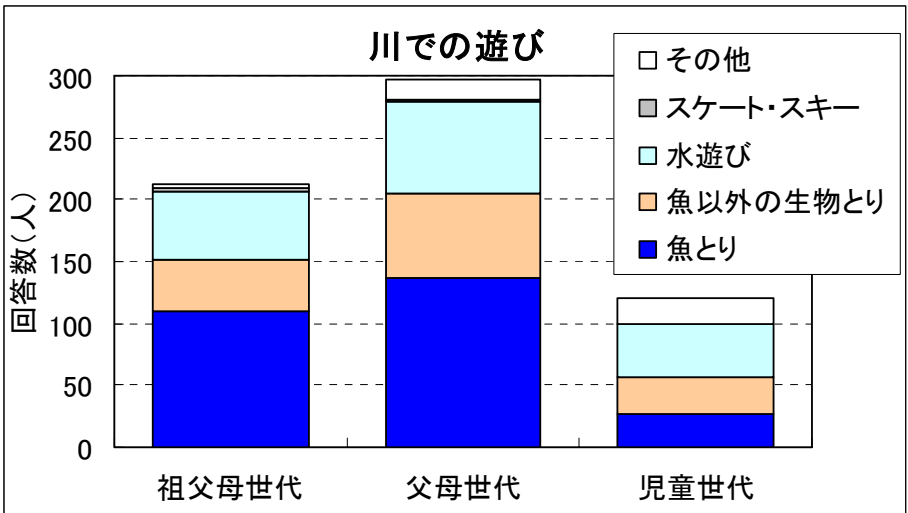
みずべ あそ 水辺での遊び

しつもん 質問

みずべ
水辺ではどんなことをしますか？ さかな
魚やえび、かに、かい
貝などをとる場合は、
そのとり方
かた おし
方も教えてください。 どうぐ
道具を使う場合、それが
自分
じぶん つく
で作ったものか、
みせ
店で買ったものかも
おし
教えてください。

けつか 結果

1. かわ 川での遊び



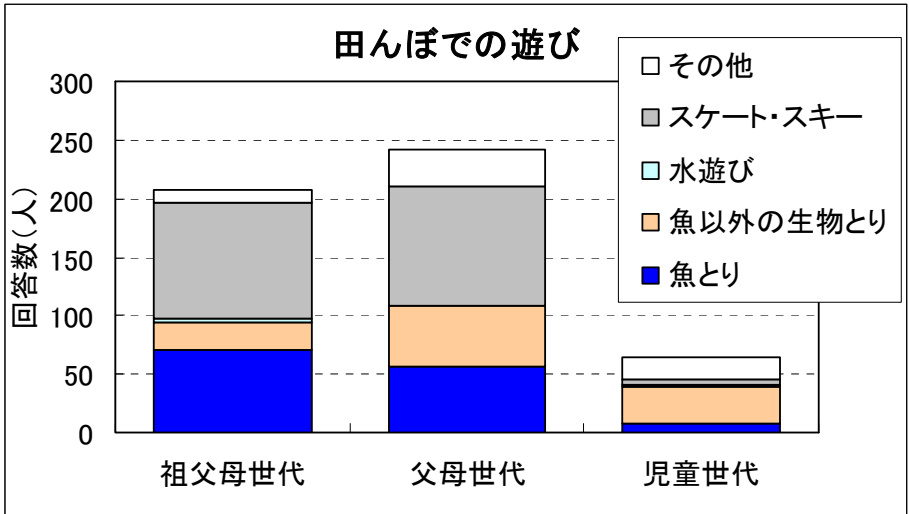
そふ ぼせだい ふ ぼせだい さかな
祖父母世代、父母世代では魚とりをしたと答えた方が多く、それ以外
はい すいせいこんちゅう
は貝や水生昆虫をつかまえたり、およ
泳いであそ
遊んだと答えた方がおお
かた おお
多かったです。 児童世代では遊ばないと答えた子供が多く、遊びに行っても、川
じどうせだい あそ
の中には入らないで、かわぎし
川岸でボール遊びやその他のスポーツをするとい
なか はい
う回答もありました。 かいとう

そ ぶ ぼ せ だ い、 ぶ ぼ せ だ い だ け は 川 の 中 に 入 っ て 遊 び、 川 の 流 れ の こ わ さ や
た の 楽 し さ を 自 ら の 経 験 か ら 学 ん で い た と 考 え ら れ ま す。



TK

2. 田んぼでの遊び



水辺環境の変化のところで示したように、1965年頃、つまり祖父母世代、父母世代が子供の頃では湿田が多く、湿田は冬になると氷が張っていたために、下駄や長靴でスケートをして遊んだと答えた方が多くいました。それ以外は、ドジョウとりやタニシとりをしたと答えた方が多くいました。児童世代では、田んぼに行かないと答えた子供が多く、タニシとりや花をとりに行くと答えた子供が少しいただけでした。

最近では、田んぼは子供の遊び場ではなくなってきているようです。



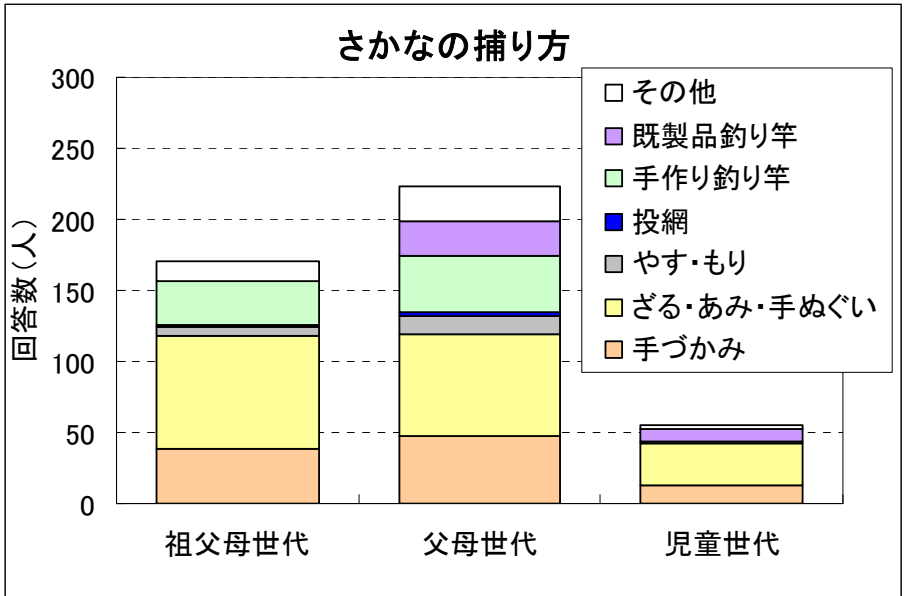
↑竹スケート

竹を半分に割って、氷の上を滑るスケート靴を自分で作ったそうです。



TK

3. さかな ほうほう どうぐ とりの方法と道具



いずれの世代においても、あみでとった方が多かったです。祖父母世代、父母世代では、手づかみでとった方も多く、それ以外では手作りの竿で釣った方が多かったです。児童世代では、あみでとった方がほとんどで、それ以外は手づかみと既製品の釣り竿を使っていました。

何人かの方は、水辺での遊びや魚とりの様子について、絵を描いて下さり、昔は自分たちの身のまわりにあるものを工夫して道具をつくり、魚や貝をとっていたことがわかりました。

むかしの魚捕りの道具



びく
と捕った魚を入れます

お追いたて棒

さかなをお追いたてるのに使います



やす
魚を突いて捕まえます



ドジョウ捕りの道具

竹の先に針がつけてあります



みはるまちれきしみんなぞくしりょうかん てんじひん
三春町歴史民俗資料館の展示品



カンテラ

ねんりょう燃料はカーバイトを使います
夜に田んぼでドジョウを捕まえるのに使います

TK

いろいろな魚捕り ^{さかなと} ^{さんせだい} —三世代アンケートのイラストから—



ひとり ^{さかな} ^{むし} ^{じょうりゅう}
一人が魚や虫を上流
から ^{おこ} ^{かりゅう} 追い込み、下流でも
ひとり ^{あみ} ^{つか}
う一人が網で捕まえた。



かわ ^{りょうがん} ^{はり} ^つ
川の両岸で針の付いた
つ ^{いと} ^{こてい} 釣り糸を固定して、^{さかな}
を釣った。

みずべ い もの へんか 水辺の生き物の変化

アンケートでは、下記の30種の生き物について、小学生の頃にかまえたり、みたりしたかどうかを写真ものせてお聞きしました。なお、これらの生き物は、最近の調査結果や地元の専門家、漁業協同組合の聞き取りをもとに選定しました。

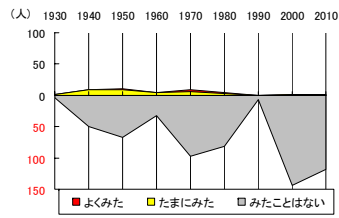
スナヤツメ、ウナギ、コイ、ギンブナ、タナゴ、
タイリクバラタナゴ、オイカワ、アブラハヤ、ウグイ、
モツゴ、カマツカ、ニゴイ、ドジョウ、ホトケドジョウ、
ギバチ、ナマズ、アユ、ヤマメ、カジカ、ブルーギル、
ブラックバス、トウヨシノボリ、オオタニシ、カラスガイ、
マシジミ、スジエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、
タガメ、ゲンゴロウ

けっか ねんだいべつ
結果 (年代別)



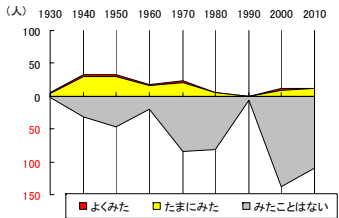
OY

スナヤツメ



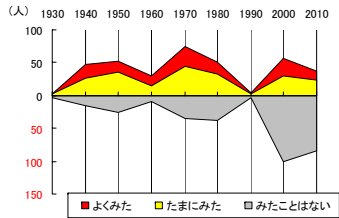
AK

ウナギ



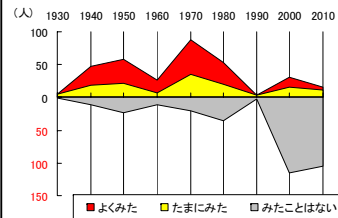
AY

コイ



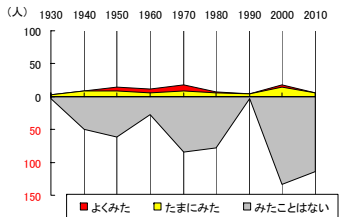
OY

ギンハナ



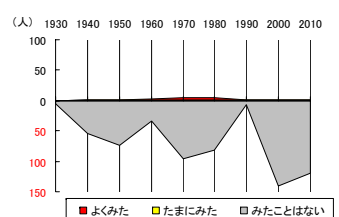
KS

タナゴ



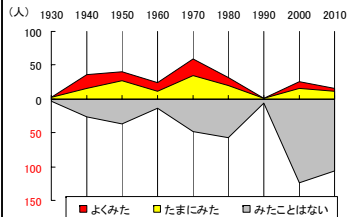
ND

タイリクパラタナゴ



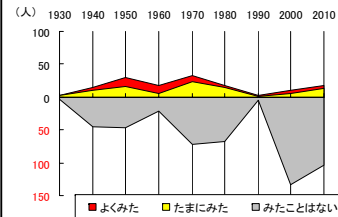
OY

オイカワ



AY

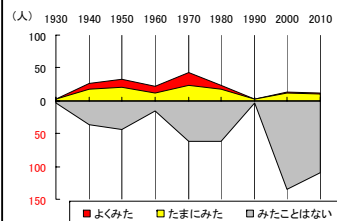
アブラハヤ





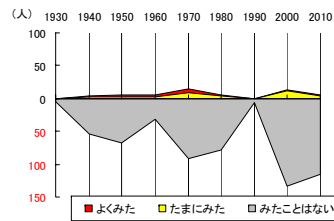
MD

ウグイ



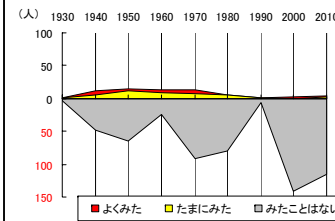
SK

モツゴ



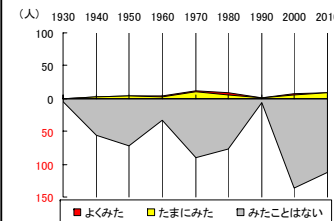
MD

カマツカ



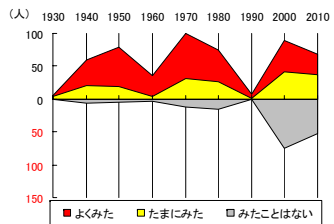
MD

ニゴイ



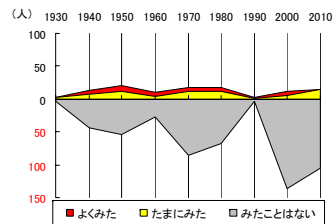
SK

ドジョウ



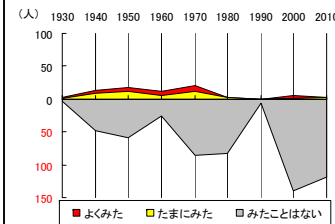
OY

ホトケドジョウ



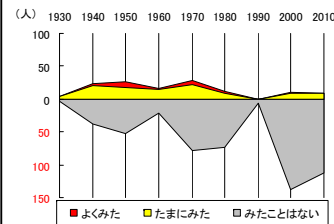
MD

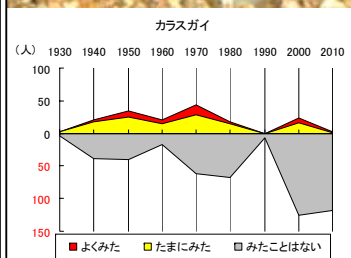
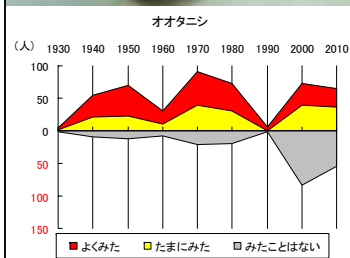
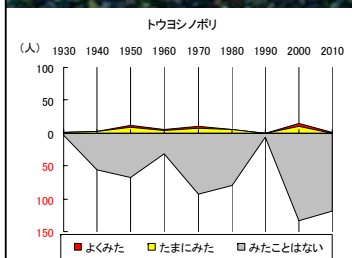
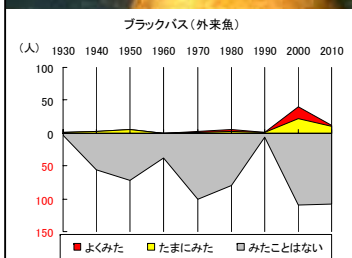
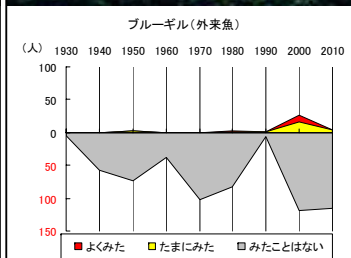
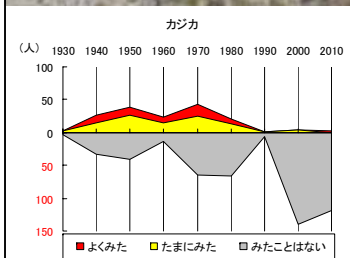
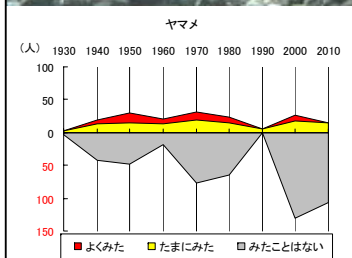
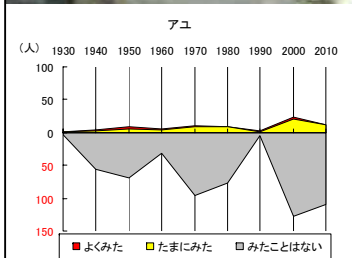
ギバチ

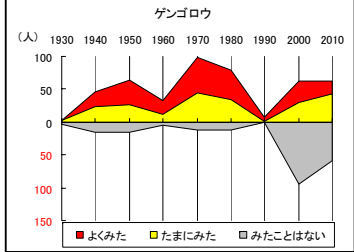
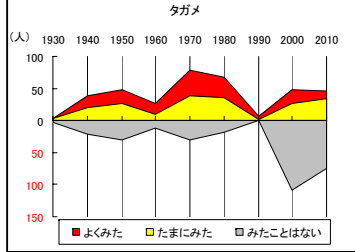
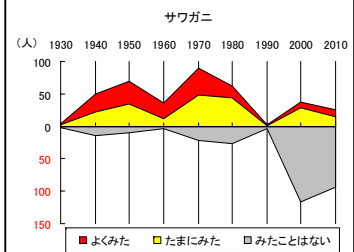
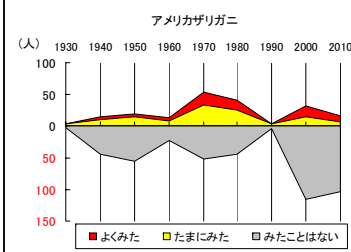
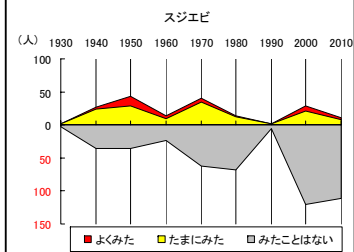
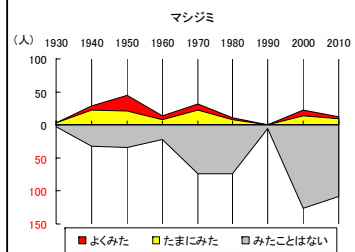


AY

ナマズ







1. 少なくなっている生き物

子供たちは川にほとんど行かないため、すべての種類で1990年以降はみたことがないと答えた方が多かったです。その中でも、祖父母世代、父母世代ではよくみられていたのに、児童世代でほとんどみられなくなった生き物がいくつかありました。

ギバチやカジカは、1965年頃までは、みたり、つかまえたりした方がいらしたようですが、最近ではほとんどみられないようです。

ギバチは、環境省の絶滅危惧Ⅱ類になっており、水質汚濁や河川改修による生息場の減少のため、全国的にも少なくなっているようです。カジカは福島県の絶滅のおそれのある野生生物で準絶滅危惧種になっており、県内でも個体数が減少しているようです。

その他には、ホトケドジョウやサワガニも少なくなっています。これらも水がきれいで、石垣やヨシなどの岸辺を生息場としています。



カジカ (大卵型)

OY



ギバチ

MD

2. 多くなっている生き物

ブルーギル、ブラックバスは、祖父世代、父母世代では見たことがないと答えた方がほとんどでしたが、児童世代ではよくみた、たまにみたと答えた方が多くいました。また、アメリカザリガニも父母世代から多くみられるようになっていました。

これらのよくみられるようになった生き物は外来種で、もともとは日本にいなかった種です。外来種の多くは、在来種よりも繁殖力が強く、ブルーギルやブラックバスのように、在来魚を捕食してしまうものもいますので、このような外来種の増加による生態系の破壊が懸念されています。



ブルーギル MD



オオクチバス SK



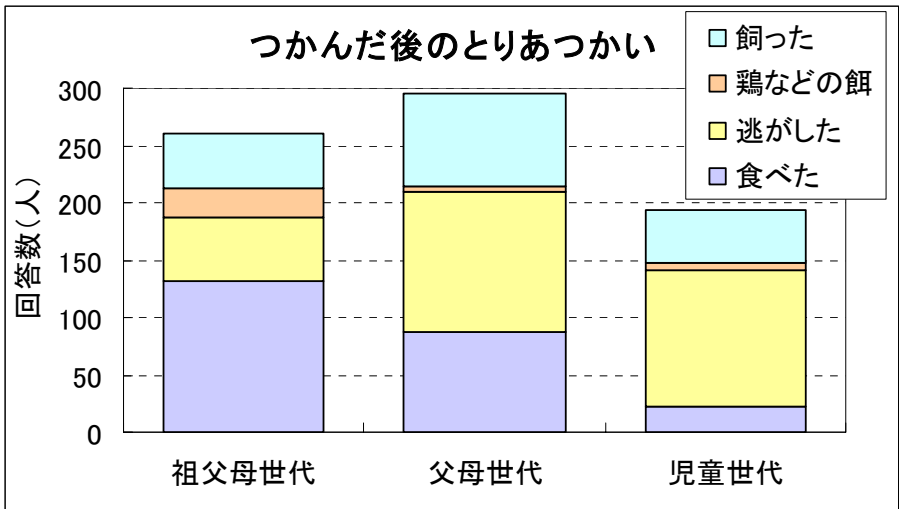
アメリカザリガニ AY

つかんだ^{あと}後のとりあつかい

質問

つかまえた^{さかな}魚などはどうしましたか？

結果



祖父母^{そふせだい}世代では、食べた^たと答えた^{こた}方が多く、^{かた}鶏^{おお}の餌^{にわとり}にしたという回答^{かいとう}もありました。しかし、父母^{ふぼせだい}世代では食べた^たと答えた^{こた}方は少なくなり、児童^{じどうせだい}世代ではわずかにしかいませんでした。

このように、昔^{むかし}は遊ぶ^{あそ}ためだけではなく、食べる^たために生き物^いとりをして^いいたことがわかりました。昔^{むかし}は、物^{もの}は豊^{ゆた}かではなかったですが、おやつ^{ゆうしょく}や夕食^{ゆうしょく}のたしにするために、親子^{おやこ}や兄弟^{きょうだい}で生き物^いとりをして、それが遊び^{あそ}びにもつながっていたことがわかりました。

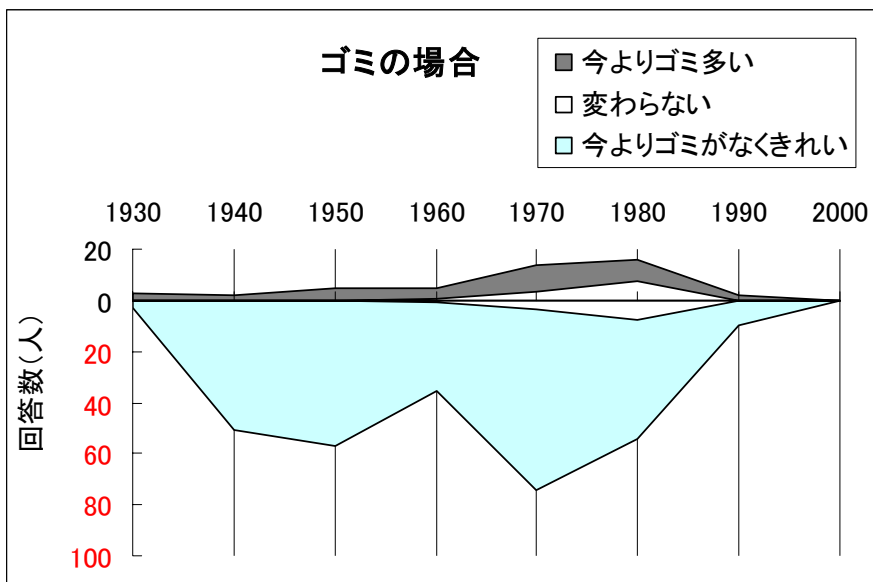
川の汚れについて

質問

今と比べて小学生のころは、川のゴミは多かったですか？それとも少なかったですか。また、水の汚れについては、今と比べてどうだったでしょうか。

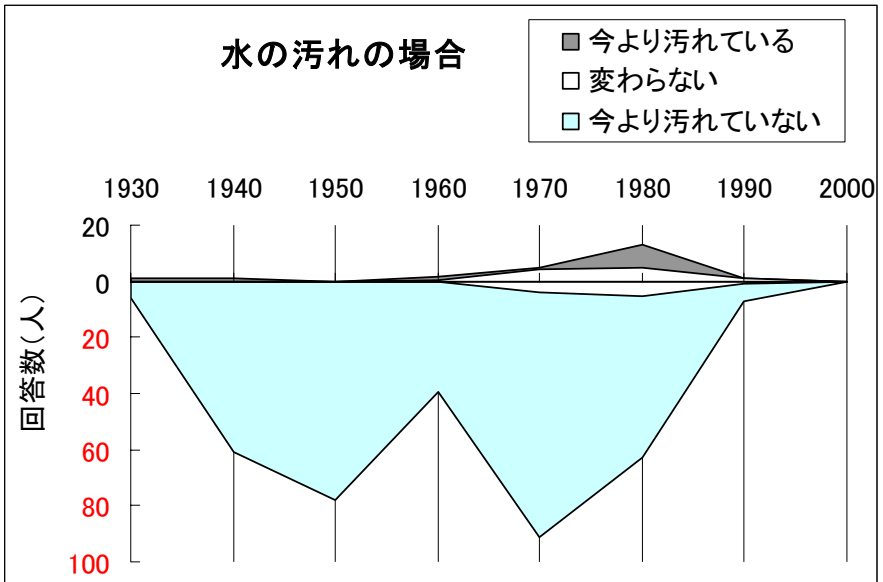
結果

1. ゴミの場合



この質問は、父母世代、祖父母世代で回答していただきましたが、どの年代でもほとんどの方が今よりもゴミが少ないと回答されていました。今よりゴミが多かったと答えた方が少しいらっしゃいますが、ゴミの内容は今のよう空き缶やペットボトルなどではなかったようです。

2. 水の汚れの場合



今より汚れていると答えた方が若干いらっしゃいましたが、どの年代でもほとんどの方が今より汚れていなくて水がきれいだったと回答されていました。

こちず かわ へんか 古地図でわかる川の変化

さんせだい アンケートの結果から、みずべ かんきょう みずべ いもの わかし
三世代アンケートの結果から、水辺の環境や水辺の生き物が昔とく
らべて変わっていることがわかりました。みずべ かんきょう
水辺の環境では、川の土手が
むかし しぜん つち
昔は自然の土でしたが、さいきん
最近ではコンクリート護岸になっているところ
が多いことがわかりました。アンケートは、みなさんの記憶をたよりに
かいとう
おお
に回答していただいています。じっさい わかし かわ ようす
実際の昔の川の様子はどうだったの
でしょうか。

ここでは、むかし かわ ようす し
昔の川の様子を知るひとつの方法として、ほうほう
こちず かつよう
古地図の活用
ほうほう
方法について、ご紹介します。

こちず
古地図は、としょかん しりょうかん
図書館や資料館などでみることができますが、こくどちりいん
国土地理院
のホームページからコピーをこうにゅう
購入することもできます。

このガイドブックでは、こくどちりいんはつこう
国土地理院発行の5万分のちけいず
1地形図（郡山、
ときわ
常葉）を使用しています。

護岸を調べる



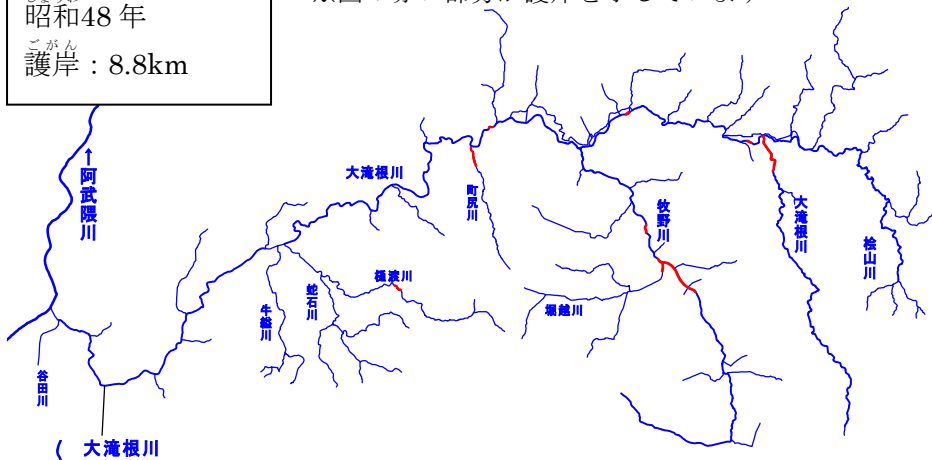
左の地図で赤い矢印で示した部分が護岸されているところです。昭和48年、平成7年、平成12年の地図で、護岸されている部分に印をつけ、大滝根川流域で護岸されている部分の長さをくらべてみました。

昭和48年では、ほとんどのところが護岸されておらず、部分的に護岸されているだけでした。平成7年では、牧野川、町尻川は大部分が護岸されていました。平成12年ではさらに護岸の範囲がひろがっていることがわかりました。なお、昭和48年より前の地図では護岸されているところは判読できませんでした。

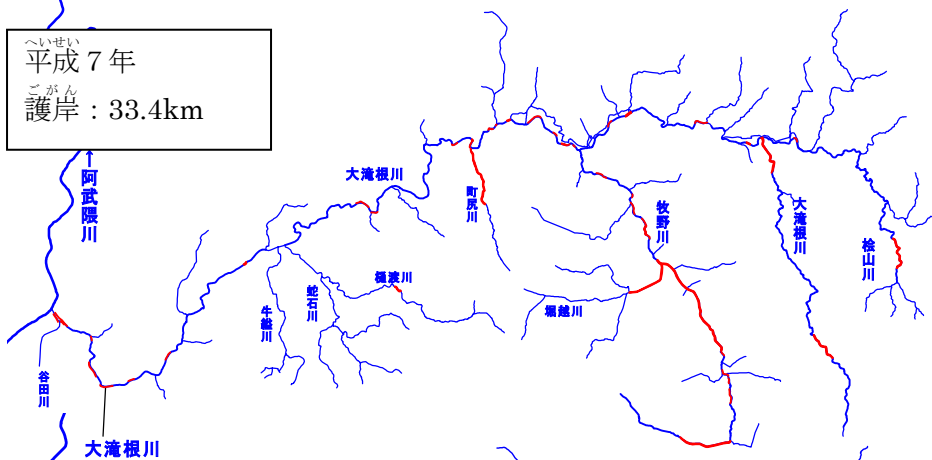
アンケートでは、土手の様子ところで、コンクリート護岸と答えた方が、祖父母世代でわずか、父母世代で増加し、児童世代では3割をこえていました。古地図でも昭和48年ではあまり護岸されていませんでしたが、平成7年、平成12年では護岸の範囲がひろがっているところから、アンケートの結果があっていることがわかりました。

ず あか ぶぶん ごがん しめ
※図の赤い部分が護岸を示しています

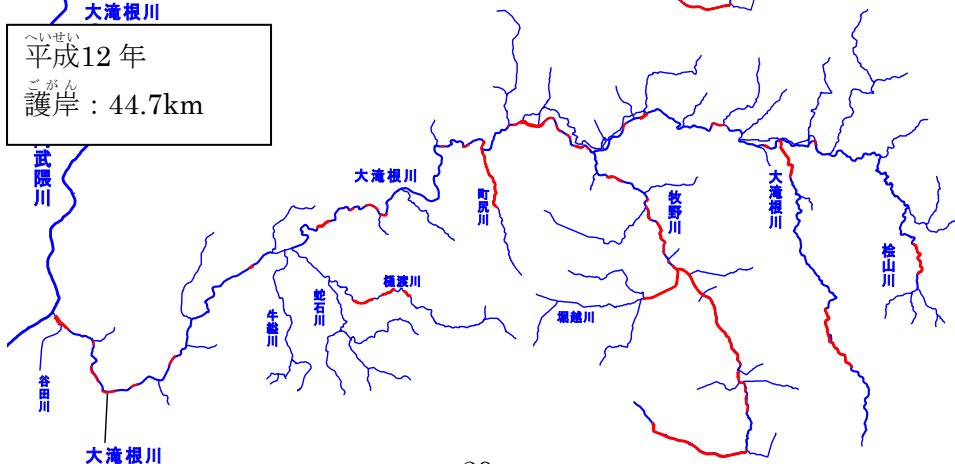
しょうわ
昭和48年
ごがん
護岸：8.8km



へいせい
平成7年
ごがん
護岸：33.4km



へいせい
平成12年
ごがん
護岸：44.7km



河道を調べる

田村市役所周辺



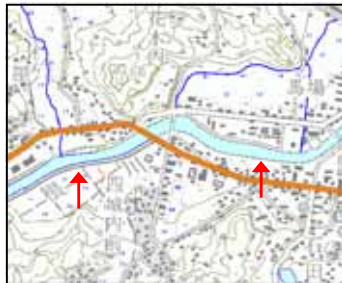
昭和27年
護岸はなく、川は蛇行している



昭和48年
一部護岸されている
河道に変化はない

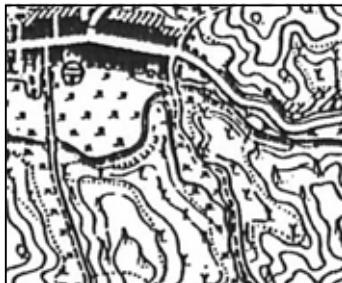


平成7年
護岸の範囲がひろがる
河道が一部変わっている



平成12年
護岸の範囲がさらにひろがる
河道はより直線的になる

常葉行政局周辺



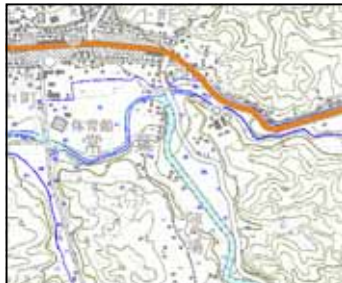
昭和27年
護岸はなく、川は蛇行している



昭和48年
大部分が護岸され、河道は広く、
まっすぐになっている



平成7年
昭和48年から変化はしていない



平成12年
昭和48年から変化はしていない

まとめ

水辺の環境は、わたしたちの生活を安全で快適にするために、変化してきたことがわかりました。しかし、一方で昔は生活の一部であった身近な川は、ただそこを流れているだけ、もしかすると存在そのものさえ認識していないというような希薄な関係になってしまいました。

この三世代アンケートを実施することで、身近な川の変化に気づいてもらい、川を守る意識の改革のきっかけにつながればいいと考えました。自然環境を守るためには、まず身近な自然環境を知るところからはじめないといけないと思います。



TK



← 川で野菜を洗っ
ている様子

MS



→ 苗取りしている
様子

NO

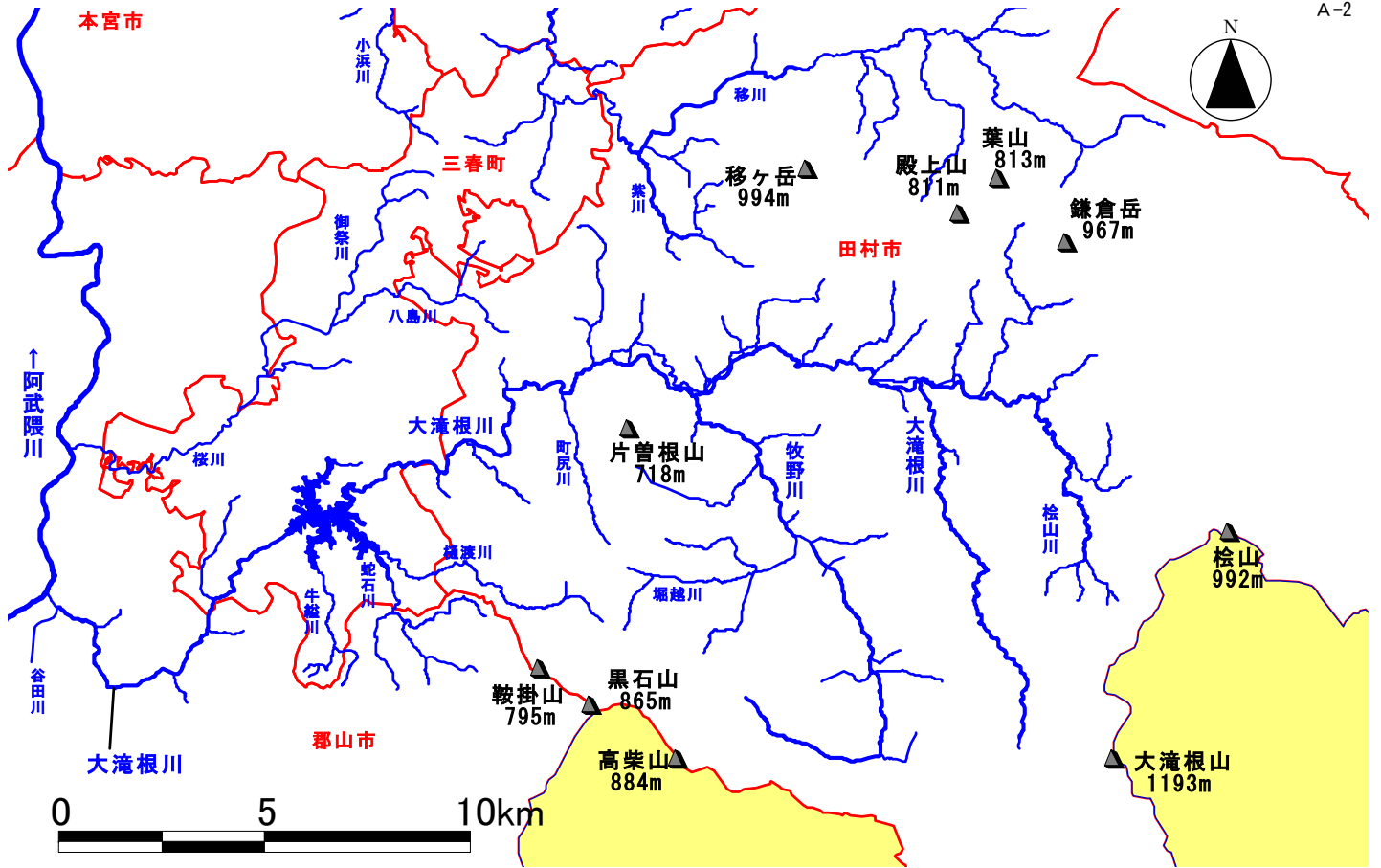
児童用

平成 年 月 日

水辺に関する三世代アンケート

1. アンケートに答えてくださる人の^{じょうほう}情報

- 1) お名前（ふりがな）：
- 2) 性別：男・女
- 3) 生まれた年を教えてください。
西暦（19 ）年・（平成 ）年
- 4) 住所を教えてください。また、地図に★印をつけてください。



2. 水辺のようすはどうか？よく行く水辺について教えてください。その場所を地図に※印で記してください。場所は複数でもかまいません。

1) 川・小川

①川や小川にはよく行きますか

(○をつけてください)

はい ときどき いいえ

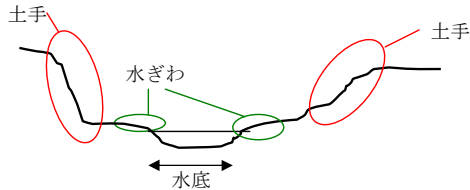
②その場所のようすを教えてください。水底、水ぎわ、土手については、表の下の注1)～注3)をみて教えてください。

川の名前	水底 ^{注1)}	水ぎわ ^{注2)}	水辺の土手 ^{注3)}
例) 牛糞川	主に砂	じゃりの川原、ヨシ	いしづ 石積み ^{こかん} の護岸

注1) 例) 水底：岩や石が多い、主に砂、主に泥、主にコンクリート

注2) 例) ヨシが多い、ヨシ以外の草、砂地、じゃり、岩

注3) 例) 土の土手、石積み^{いしづ}の護岸^{ごかん}、コンクリート護岸



2) 水田

①水田にはよく行きますか

(○をつけてください)

はい ときどき いいえ

②水田は、冬に水がはっていますか(冬に水を落とさない湿田^{しつでん}ですか?) 教えてください。どちらかに○をつけてください。

湿田

乾田

3. 水辺では、どこでどんなことをしますか？魚やえび、かに、貝などをとる場合は、そのとり方も教えてください。道具を使う場合、それが自分で作ったものか、店で買ったものかも教えてください。

例) ○○川で魚とり、植物とり、水遊び、スケート・スキーなど
道具は手づかみ、ざる、もり、手作りつりざお、げたスキー、竹スケートなど

1) 川・小川

2) 水田

3) その他の水辺にもよく行く人は、その場所のことを教えてください。

4. どんな魚や貝をとったり、見たりしますか？

下の写真をみて、生き物名の右側の欄に、次の印をつけてください。の中には、昔はいなかったのに、放流などにより最近増えてきたもの、最近激減したものも含まれており、アンケートを通じて昔のことが分かればと思います。

- ◎：よくとれる、多く見る
 ○：たまにとれる、たまに見る
 -：見たことはない

<p>1. スナヤツメ ヤツメウナギ, ヤツメ</p> 	<p>2. ウナギ</p> 	<p>3. コイ</p> 
<p>4. ギンブナ フナ, キンブナ</p> 	<p>5. タナゴ</p> 	<p>6. タイリクハラダコ</p> 
<p>7. オイカワ ハヤ, ヤマベ</p> 	<p>8. アブラハヤ ドスハヤ, アブラハヤ</p> 	<p>9. ウグイ アカハラ, ハヤ</p> 
<p>10. モツゴ クチボソ, ボヤ</p> 	<p>11. カマツカ カマツピシ</p> 	<p>12. ニゴイ カワザイ</p> 

<p>13. ドジョウ 加ドジヨウ, ドドジヨウ</p> 	<p>14. ホトケドジョウ ホドドジヨウ, フクロドジヨウ</p> 	<p>15. ギバチ ギンギョ, ギギ</p> 
<p>16. ナマズ</p> 	<p>17. アユ</p> 	<p>18. ヤマメ ヤマベ</p> 
<p>19. カジカ</p> 	<p>20. ブルーギル</p> 	<p>21. ブラックバス 材チバス, コチバス</p> 
<p>22. トウヨシノボリ ドンコ</p> 	<p>23. オオタニシ ツブ</p> 	<p>24. カラスガイ</p> 
<p>25. マシジミ シジミ</p> 	<p>26. スジエビ エビ, カツエビ</p> 	<p>27. アメリカザリガニ ザリガニ</p> 
<p>28. サワガニ</p> 	<p>29. タガメ タカマ</p> 	<p>30. ゲンゴロウ</p> 

<写真等の出典>

三春ダム管理所 (6、9、11、12、15、20、22)、財団法人ダム水源環境整備センター (23、25、28)

さくら湖自然観察ステーション (10、13、21、24、29)、応用地質株式会社 (1、4、7、14、17、18、19、26、30)

秋山和敏 (2)、荒木克昌 (3、8、16、27)、小林周一 (5)

5. 捕^{つか}まえた魚などはどうしましたか？ 次のものに○印をつけてください。複^{ふくすう}数でもかまいません。また、食べた方は、食べ方なども教えてください。

1. 食べた。

<食べ方> 例) 味噌^{みそ}汁、焼いて食べたなど

2. 飼^かった。

3. ニワトリなどの動物のえさにした。

4. 逃^にがした

5. そのほか ()

父母世代用

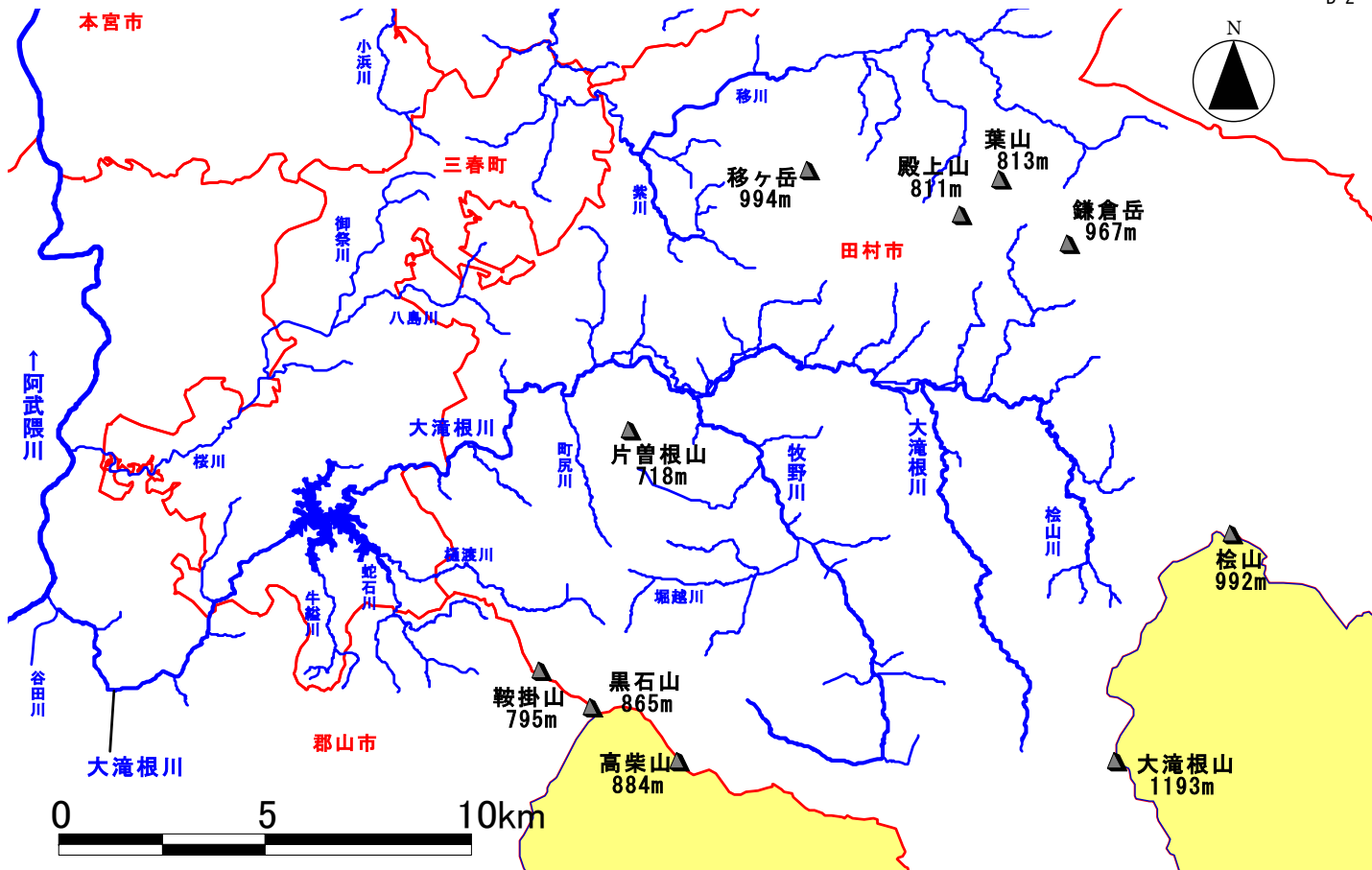
平成 年 月 日

水辺に関する三世代アンケート

1. アンケートに答えてくださる人の情報

- 1) 名前（ふりがな）：
- 2) 性別：男・女
- 3) 生まれた年代を教えてください。
西暦（19 ）年・（年号 ）年
- 4) 小学生のころの住所を教えてください。
市区町村名（ ）

※これからの質問の答えは、全て小学校のころを思い出してお答えください。



大滝根川周辺の地図

2. 水辺のようすはどうでしたか？小学校のころよく行った水辺について教えてください。その場所を地図に※印で記してください。場所は複数でもかまいません。

1) 川・小川

①川や小川にはよく行きましたか

(○をつけてください) はい ときどき いいえ

②その場所のようすを教えてください。水底、水ぎわ、土手については、表の下の

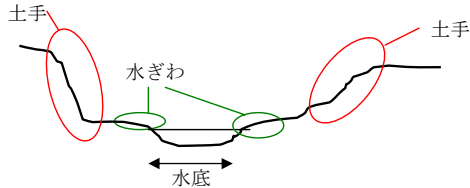
注1)～注3)をみて教えてください。

川の名前	水底 ^{注1)}	水ぎわ ^{注2)}	水辺の土手 ^{注3)}
例) 牛絵川	主に砂	じゃりの川原、ヨシ	石積みの護岸

注1) 例) 水底：岩や石が多い、主に砂、主に泥、主にコンクリート

注2) 例) ヨシが多い、ヨシ以外の草、砂地、じゃり、岩

注3) 例) 土の土手、石積みの護岸、コンクリート護岸



2) 水田

①水田にはよく行きましたか

(○をつけてください) はい ときどき いいえ

②水田は、冬に水がはっていましたか（冬に水を落とさない湿田でしたか？）教えてください。どちらかに○をつけてください。

湿田

乾田

また、冬に水田で遊びましたか。遊んだ場合は、何をして遊びましたか。

例) ドジョウとり、げたスケートなど

3. 水辺では、どこでどんなことをしましたか？魚やえび、かに、貝などをとった場合は、そのとり方も教えてください。道具を使った場合、それが自分で作ったものか、店で買ったものかも教えてください。

例) ○○川で魚とり、植物とり、水遊び、スケート・スキーなど
道具は手づかみ、ざる、もり、手作りつりざお、げたスキー、竹スケートなど

1) 川・小川

2) 水田

3) その他の水辺にもよく行った人は、その場所のことを教えてください。

4. どんな魚や貝をとったり、見たりしましたか？

下の写真をみて、生き物名の右側の欄に、次の印をつけてください。の中には、昔はいなかったのに、放流などにより最近増えてきたもの、最近激減したものも含まれており、アンケートを通じて昔のことが分かればと思います。

- ◎：よくとれた、多く見た
 ○：たまにとれた、たまに見た
 -：見たことはない

<p>1. スナヤツメ ヤツメウナギ, ヤツメ</p> 	<p>2. ウナギ</p> 	<p>3. コイ</p> 
<p>4. ギンブナ フナ, キンブナ</p> 	<p>5. タナゴ</p> 	<p>6. タイリハ`ラダコ`</p> 
<p>7. オイカワ ハヤ, ヤマベ</p> 	<p>8. アブラハヤ ド`スパ`ヤ, ア`ラッパ`ヤ</p> 	<p>9. ウグイ アカハラ, ハヤ</p> 
<p>10. モツゴ クチボソ, ボヤ</p> 	<p>11. カマツカ カマツピシ</p> 	<p>12. ニゴイ カワザイ</p> 

<p>13. ドジョウ 加ドジョウ, ドドジョウ</p> 	<p>14. ホトケドジョウ ホトドジョウ, フクロドジョウ</p> 	<p>15. ギバチ ギンギョ, ギギ</p> 
<p>16. ナマズ</p> 	<p>17. アユ</p> 	<p>18. ヤマメ ヤマベ</p> 
<p>19. カジカ</p> 	<p>20. ブルーギル</p> 	<p>21. ブラックバス 材チバス, コチバス</p> 
<p>22. トウヨシノボリ ドンコ</p> 	<p>23. オオタニシ ツブ</p> 	<p>24. カラスガイ</p> 
<p>25. マシジミ シジミ</p> 	<p>26. スジエビ エビ, カツエビ</p> 	<p>27. アメリカザリガニ ザリガニ</p> 
<p>28. サワガニ</p> 	<p>29. タガメ タカマ</p> 	<p>30. ゲンゴロウ</p> 

<写真等の出典>

三春ダム管理所 (6、9、11、12、15、20、22)、財団法人ダム水源環境整備センター (23、25、28)

さくら湖自然観察ステーション (10、13、21、24、29)、応用地質株式会社 (1、4、7、14、17、18、19、26、30)

秋山和敏 (2)、荒木克昌 (3、8、16、27)、小林周一 (5)

5. 捕^{つか}まえた魚などはどうしましたか？ 次のものに○印をつけてください。複^{ふくすう}数でもかまいません。また、食べた方は、食べ方なども教えてください。

1. 食べた。

<食べ方> 例) 味噌^{みそ}汁、焼いて食べたなど

2. 飼^かった。

3. ニワトリなどの動物のえさにした。

4. 逃^にがした

5. そのほか ()

6. 今と比べて小学生のころは、川のゴミは多かったですか？ それとも少なかったですか。また、水の汚れについては、今と比べてどうだったでしょうか。

例) 子どものころの方が、ゴミは少ない。でも、犬や猫の死体も浮いていた。
水はもっときれいだった。

よろしければ、生き物捕りの様子の絵を思い出しながら書いてください。

以上で、アンケートは終了です。ありがとうございました。

祖父母世代用

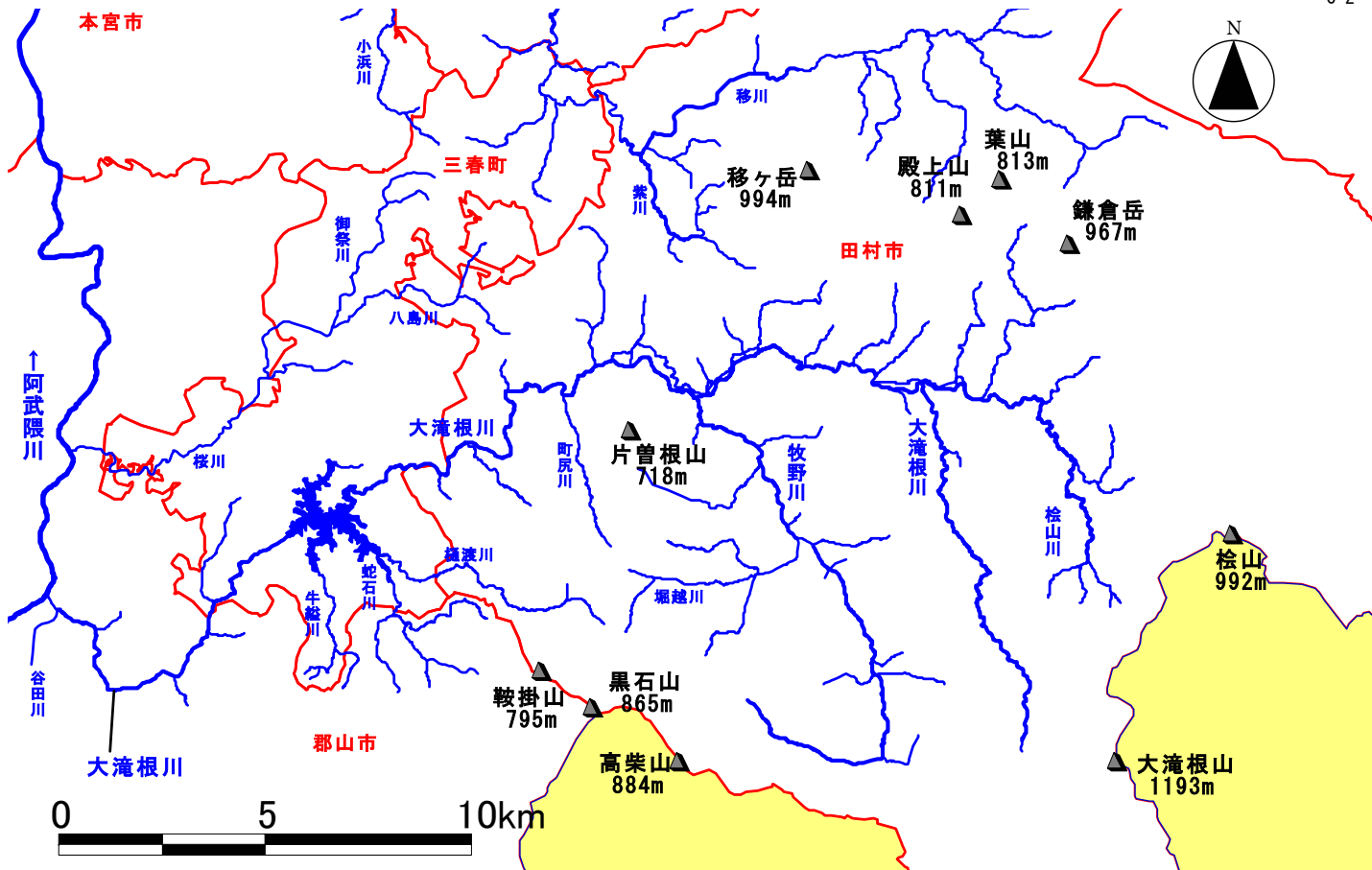
平成 年 月 日

水辺に関する三世代アンケート

1. アンケートに答えてくださる人の情報

- 1) 名前（ふりがな）：
- 2) 性別：男・女
- 3) 生まれた年代を教えてください。下のいずれかに○をつけてください。
西暦（19 ）年・（年号 ）年
- 4) 小学生のころの住所を教えてください。
市区町村名（ ）

※これからの質問の答えは、全て小学校のころを思い出してお答えください。



2. 水辺のようすはどうでしたか？小学校のころよく行った水辺について教えてください。その場所を地図に※印で記してください。場所は複数でもかまいません。

1) 川・小川

①川や小川にはよく行きましたか

(○をつけてください) はい ときどき いいえ

②その場所のようすを教えてください。水底、水ぎわ、土手については、表の下の

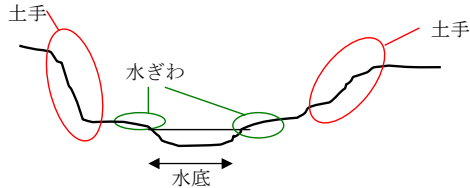
注1)～注3)をみて教えてください。

川の名前	水底 ^{注1)}	水ぎわ ^{注2)}	水辺の土手 ^{注3)}
例) 牛絵川	主に砂	じゃりの川原、ヨシ	石積みの護岸

注1) 例) 水底：岩や石が多い、主に砂、主に泥、主にコンクリート

注2) 例) ヨシが多い、ヨシ以外の草、砂地、じゃり、岩

注3) 例) 土の土手、石積みの護岸、コンクリート護岸



2) 水田

①水田にはよく行きましたか

(○をつけてください) はい ときどき いいえ

②水田は、冬に水がはっていましたか（冬に水を落とさない湿田でしたか？）教えてください。どちらかに○をつけてください。

湿田

乾田

また、冬に水田で遊びましたか。遊んだ場合は、何をして遊びましたか。

例) ドジョウとり、げたスケートなど

3. 水辺では、どこでどんなことをしましたか？魚やえび、かに、貝などをとった場合は、そのとり方も教えてください。道具を使った場合、それが自分で作ったものか、店で買ったものかも教えてください。

例) ○○川で魚とり、植物とり、水遊び、スケート・スキーなど
道具は手づかみ、ざる、もり、手作りつりざお、げたスキー、竹スケートなど

1) 川・小川

2) 水田

3) その他の水辺にもよく行った人は、その場所のことを教えてください。

4. どんな魚や貝をとったり、見たりしましたか？

下の写真をみて、生き物名の右側の欄に、次の印をつけてください。の中には、昔はいなかったのに、放流などにより最近増えてきたもの、最近激減したものも含まれており、アンケートを通じて昔のことが分かればと思います。

- ◎：よくとれた、多く見た
 ○：たまにとれた、たまに見た
 -：見たことはない

<p>1. スナヤツメ ヤツメウナギ, ヤツメ</p> 	<p>2. ウナギ</p> 	<p>3. コイ</p> 
<p>4. ギンブナ フナ, キンブナ</p> 	<p>5. タナゴ</p> 	<p>6. タイリカバラコ</p> 
<p>7. オイカワ ハヤ, ヤマベ</p> 	<p>8. アブラハヤ ドスハヤ, アブラハヤ</p> 	<p>9. ウグイ アカハラ, ハヤ</p> 
<p>10. モツゴ クチボソ, ボヤ</p> 	<p>11. カマツカ カマツシ</p> 	<p>12. ニゴイ カワザイ</p> 

<p>13. ドジョウ 加ドジョウ, ドドジョウ</p> 	<p>14. ホトケドジョウ ホトドジョウ, フクロドジョウ</p> 	<p>15. ギバチ ギンギョ, ギギ</p> 
<p>16. ナマズ</p> 	<p>17. アユ</p> 	<p>18. ヤマメ ヤマベ</p> 
<p>19. カジカ</p> 	<p>20. ブルーギル</p> 	<p>21. ブラックバス 材チバス, コチバス</p> 
<p>22. トウヨシノボリ ドンコ</p> 	<p>23. オオタニシ ツブ</p> 	<p>24. カラスガイ</p> 
<p>25. マシジミ シジミ</p> 	<p>26. スジエビ エビ, カツエビ</p> 	<p>27. アメリカザリガニ ザリガニ</p> 
<p>28. サワガニ</p> 	<p>29. タガメ タカマ</p> 	<p>30. ゲンゴロウ</p> 

<写真等の出典>

三春ダム管理所 (6、9、11、12、15、20、22)、財団法人ダム水源環境整備センター (23、25、28)

さくら湖自然観察ステーション (10、13、21、24、29)、応用地質株式会社 (1、4、7、14、17、18、19、26、30)

秋山和敏 (2)、荒木克昌 (3、8、16、27)、小林周一 (5)

5. 捕^{つか}まえた魚などはどうしましたか？ 次のものに○印をつけてください。複^{ふくすう}数でもかまいません。また、食べた方は、食べ方なども教えてください。

1. 食べた。

<食べ方> 例) 味噌^{みそ}汁、焼いて食べたなど

2. 飼った。

3. ニワトリなどの動物のえさにした。

4. 逃がした

5. そのほか ()

6. 今と比べて小学生のころは、川のゴミは多かったですか？ それとも少なかったですか。また、水の汚れについては、今と比べてどうだったでしょうか。

例) 子どものころの方が、ゴミは少ない。でも、犬や猫の死体も浮いていた。
水はもっときれいだった。

よろしければ、生き物捕りの様子の絵を思い出しながら書いてください。

以上で、アンケートは終了です。ありがとうございました。

参考文献

水辺遊びの生態学－琵琶湖地域の三世代の語りから－ (2000)

嘉田由紀子・遊磨正秀著
社団法人農山漁村文化協会発行

写真提供

秋山 和敏(AK)、荒木 克昌(AY)、一柳 英隆(IH)、大河原 輝男(OT)

小林 周一(KS)、根本 紀(NO)

さくら湖自然観察ステーション(SK)

三春町歴史民俗資料館 (MS)

財団法人ダム水源地環境整備センター(WEC)

国土交通省東北地方整備局 三春ダム管理所(MD)

応用地質株式会社(OY)

イラスト

田島 香雅 (TK)

ご協力

三春町歴史民俗資料館 大内 美穂

文章

影山 奈美子、橋本 瞳

事務局

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

山口 晋、柴田 敏明、浅見 和弘

発行

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

〒963-7759 福島県田村郡三春町字大町 191

TEL. 0247-62-3837 FAX. 0247-62-4727



水辺の歴史編

発行：さくら湖自然環境フォーラム実行委員会